

# 第13回全国和牛能力共進会北海道大会

## 基本計画

(案)



**PROMOTION**

プロモーション

**振興**

**ATTRACTION**

アトラクション

**魅力**

**TRADITION**

トラディション

**伝承**

令和6年5月

第13回全国和牛能力共進会北海道大会実行委員会



1 開催概要	
(1) 開催の目的	1
(2) 開催内容	1
(3) コンセプト・テーマ	2
(4) 会場の特色・アクセス	3—6
2 会場計画	
(1) 種牛の部会場	
ア 共進会場エリア	7—10
イ 催事会場エリア	11—12
(2) 肉牛の部会場	
ア 審査・展示会場	13—14
イ セリ会場・セリ参観会場	15—16
(3) 駐車場	17
3 共進会開催計画	
(1) 式典	18
(2) 共進会	19
(参考) 出品区分	20
4 催事開催計画	
(1) 種牛の部会場	21—22
(2) 肉牛の部会場	23
(3) 出展・協賛	24
5 広報計画	25
6 交通・宿泊計画	
(1) 交通計画	26
(2) 宿泊計画	27
7 会場運営計画	28—29
8 全体事業費（概算）	30
9 全体スケジュール	31

## 1. 開催概要

全国和牛能力共進会（以下「全共」という。）は、和牛の能力と斉一性の向上を目的に、和牛生産や改良上の課題をテーマとして掲げ、時代の要求にかなう種牛や肉牛を実証展示するとともに、改良成果を競う場として5年ごとに開催される大会である。

この大会で優秀な成績を収めることは、各道府県の和牛のブランド力向上につながることから、全国の和牛生産者にとって最も重要な大会となっている。

### (1) 開催の目的

北海道の和牛生産は、地域の和牛改良組合が全国の産地からの繁殖牛を導入し、厳しい自然環境に適した雌牛の選抜・保留を進めるなど、生産者や関係機関が一体となって和牛改良を推進し、飼養頭数は全国3位の産地に発展してきた。

北海道が将来にわたり和牛産地として発展していくためには、自給飼料の活用や飼養管理技術の向上、北海道らしい特色ある種牛の造成、産肉性・種牛性に優れる繁殖雌牛群の造成など、生産基盤の強化による北海道の和牛ブランドの確立に向けた取組が必要である。

このため、本大会では、北海道で生産される和牛や和牛肉のブランド力向上とともに北海道の魅力（食・観光）のPRを目的とし、開催に向けて関係者が和牛改良など生産基盤の強化に取り組み、その成果を第13回全共で発揮し、北海道が質・量ともに全国有数の産地となることを目指す。

### (2) 開催内容

本大会は、過去大会の県主体の実施体制ではなく、和牛生産者、農業団体、関係機関・団体、帯広市、音更町、北海道によるオール北海道の体制で実施していく。

大会名称	第13回全国和牛能力共進会北海道大会
主催	公益社団法人全国和牛登録協会
運営主体	第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会
開催期間	5日間（令和9年8月26日(木)～8月30日(月)）
開催場所	種牛の部会場 共進会場エリア：河東郡音更町字音更西「ホクレン十勝地区家畜市場」 催事会場エリア：河東郡音更町希望が丘 「希望が丘運動公園」、「家畜集出荷センター」
	肉牛の部会場 審査・展示会場：帯広市西24条「(株)北海道畜産公社十勝工場」 セリ会場およびセリ参観会場：帯広市大通北 「帯広市総合体育館 よつ葉アリーナ十勝」
出品頭数	「種牛の部」・「高校及び農業大学校の部」：約320頭 「肉牛の部」：約200頭
関係者	約2,500名(出品関係者、大会関係者)
来賓	約2,000名(公益社団法人全国和牛登録協会招待者、実行委員会招待者)
予想来場者	約38万人(応援者、一般来場者)

(3) コンセプト・テーマ

■ コンセプト

**振興**  
(PROMOTION)



全共の北海道開催を契機に道内の和牛改良・生産基盤強化を進め、北海道を全国有数の和牛産地とするとともに、全国の産地が競い合い、交流を深めることにより、全国の産地が更なる和牛振興につなげる大会とする。

**魅力**  
(ATTRACTION)



本大会で北海道和牛肉の魅力を多くの方々にお伝えし、ブランド力の向上を図るとともに、世界的にも評価の高い和牛肉の魅力を国内外に発信する大会とする。

**伝承**  
(TRADITION)



貴重な遺伝子を守り育てた全国の育種産地への“感謝”とともに、生産性向上への新しい技術や和牛肉の新たな価値観、高校生・農大生などの“新しい力”により、和牛生産を次世代に継承し、未来につなげていく大会とする。

**おもてなし**  
(RECEPTION)



北海道・会場への来訪者をオール北海道でおもてなしの心「イランカラッテ」（アイヌ語で「こんにちは」の意）でお迎えし、北海道の食・観光・文化を満喫していただき、「北海道に来てよかった!!」とさせていただく大会とする。



■ テーマ

〈大会テーマ〉

『魅力発信

新しい力でつなぐ 和牛の未来』

主 催  
公益社団法人全国和牛登録協会  
運営主体  
第13回全共北海道実行委員会

〈イベントテーマ・大会愛称〉

『Wa Gyu Ready ?  
和牛の次なる1歩は北の大地から  
和牛の祭典2027』

運営主体  
第13回全共北海道実行委員会

## (4) 会場の特色・アクセス

### ■ 種牛の部会場

#### ○種牛の部会場（共進会場エリア）【ホクレン十勝地区家畜市場】

- ・開催地 音更町は北海道の東部 十勝平野の中央にあり、概ね平坦で地質も良く、農産物の生育に適し道内屈指の穀倉地帯で十勝を代表する観光地十勝川温泉を擁する。
- ・会場は道東自動車道音更帯広ICに隣接し、JR帯広駅から車で20分程度の立地。
- ・審査会場は敷地内の十勝農協連共進会場（アグリアリーナ）、牧舎は市場牛舎を活用。

〈所在地〉 河東郡音更町字音更西2線9-1

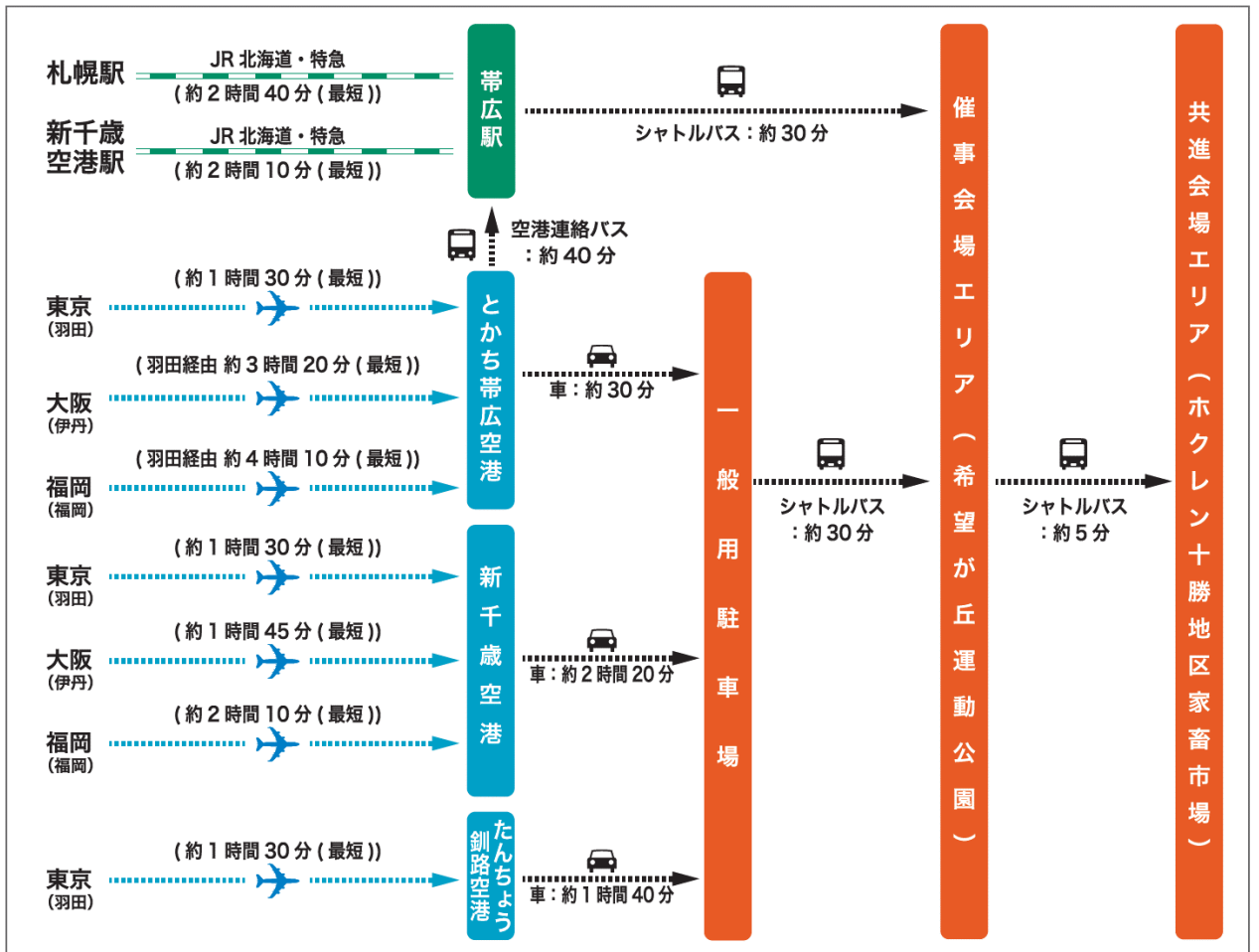


#### ○種牛の部会場（催事会場エリア）【希望が丘運動公園他】

- ・共進会エリアから約1km北東に位置し、全体敷地は約24ha。
- ・隣接する家畜集出荷センターや生涯学習センターも活用。

〈所在地〉 河東郡音更町希望が丘4番地





## ■ 肉牛の部会場

### ○肉牛の部会場（審査・展示会場）【株式会社北海道畜産公社十勝工場】

- ・昭和52年より操業、道東地区が主な集荷エリア。
- ・会場は帯広広尾自動車道芽室帯広ICに隣接し、牛の処理能力は1日あたり450頭。
- ・牛肉についてはEU、米国、ニュージーランド、台湾、タイ、マカオ、ベトナム、ミャンマー、シンガポール、香港への輸出認定工場。

〈所在地〉 帯広市西24条北2丁目1-1



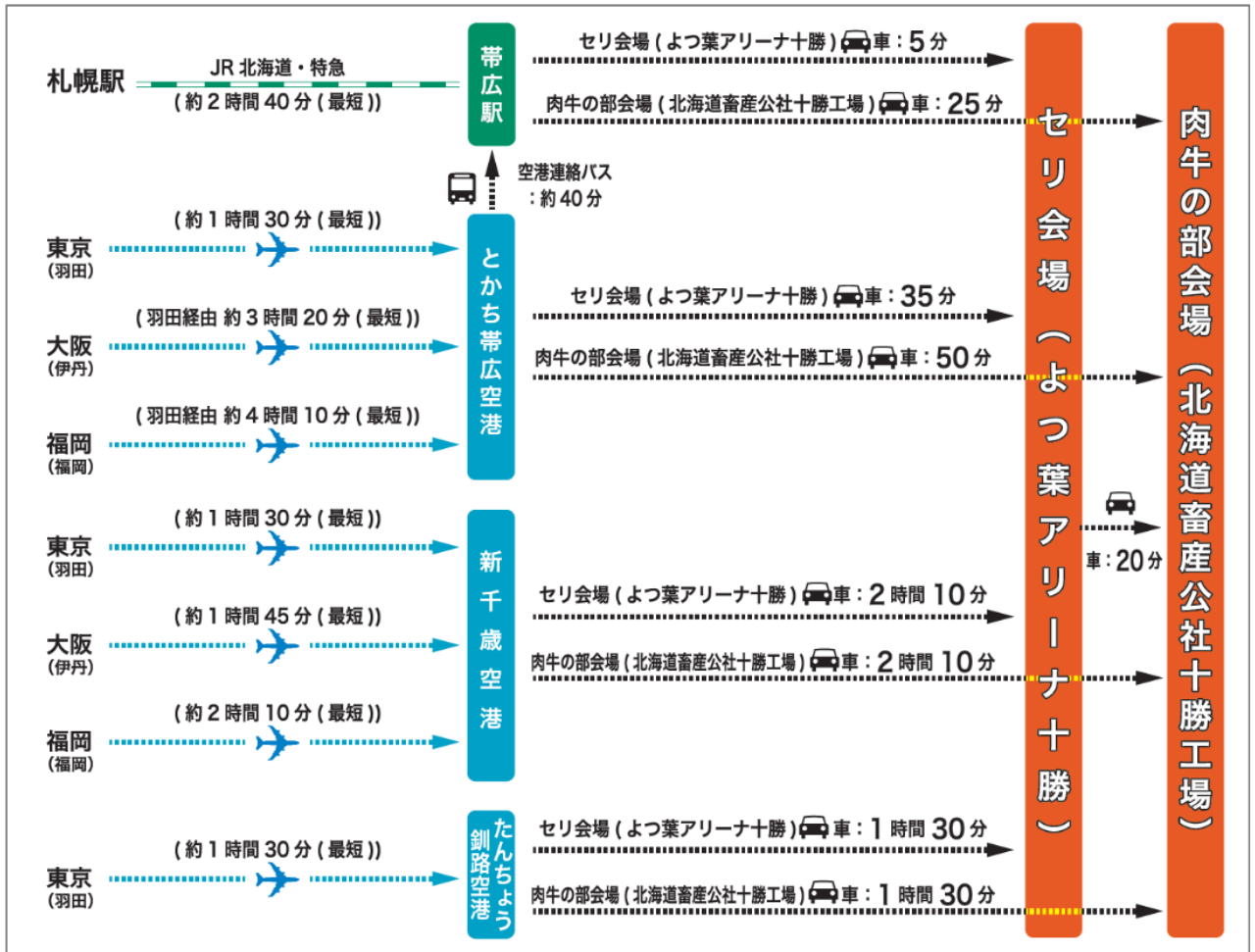
### ○肉牛の部会場（セリ・参観会場）【帯広市総合体育館 よつ葉アリーナ十勝】

- ・2020年リニューアルした、十勝管内最大のスポーツアリーナ、コンベンション施設。
- ・メインアリーナ 2,806㎡・観覧席2,883席、サブアリーナ 1,103㎡・観覧席246席。
- ・肉牛会場（審査・展示会場）との距離は8km。

〈所在地〉 帯広市大通北1丁目1







## 2. 会場計画

### (1) 種牛の部会場

#### ア 共進会場エリア 【ホクレン十勝地区家畜市場】

##### 《基本的な考え方》

5年に一度の「和牛の祭典」にふさわしい華やかで快適に出品牛を観覧できる空間を創出し、出品牛の改良成果の実証展示と関係者の応援・交流の場を演出する。

また、牛舎についても牛や人にとって過ごしやすく作業しやすい環境を提供する。

##### 《実施会場》

共進会場エリアでは、審査会場（十勝農協連アグリアリーナ）、屋外観覧場（カウロード）、雄・雌牛舎（調教場、牛洗い場、堆肥置き場、乗降場含む）、出品牛待機場のほか、道府県や協賛企業のPRブースに加え、出品関係者用の飲食スペースを配置する。

##### 《会場計画のポイント》

###### ○審査会場エリア

- ・ 多くの来場者が快適に出品牛の審査を観覧できるよう、審査会場と屋外観覧場前に出品牛が通過する場（カウロード）を設置するとともに、大型LEDビジョンを設置し、審査の様子を中継する。

###### ○道府県PRエリア

- ・ 既設の馬房を活用し、道府県事務所も兼ねたPRコーナーを展開する。

###### ○協賛企業・団体エリア

- ・ 協賛企業団体エリアは畜産関係を中心とする。
- ・ 安全かつ十分に見学できるエリア設計をする。

###### ○飲食エリア

- ・ 出品関係者用に北海道・十勝のソウルフード等を揃えた飲食エリアを設置する。
- ・ 来場者が、スムーズに往来できる動線設計を行う。

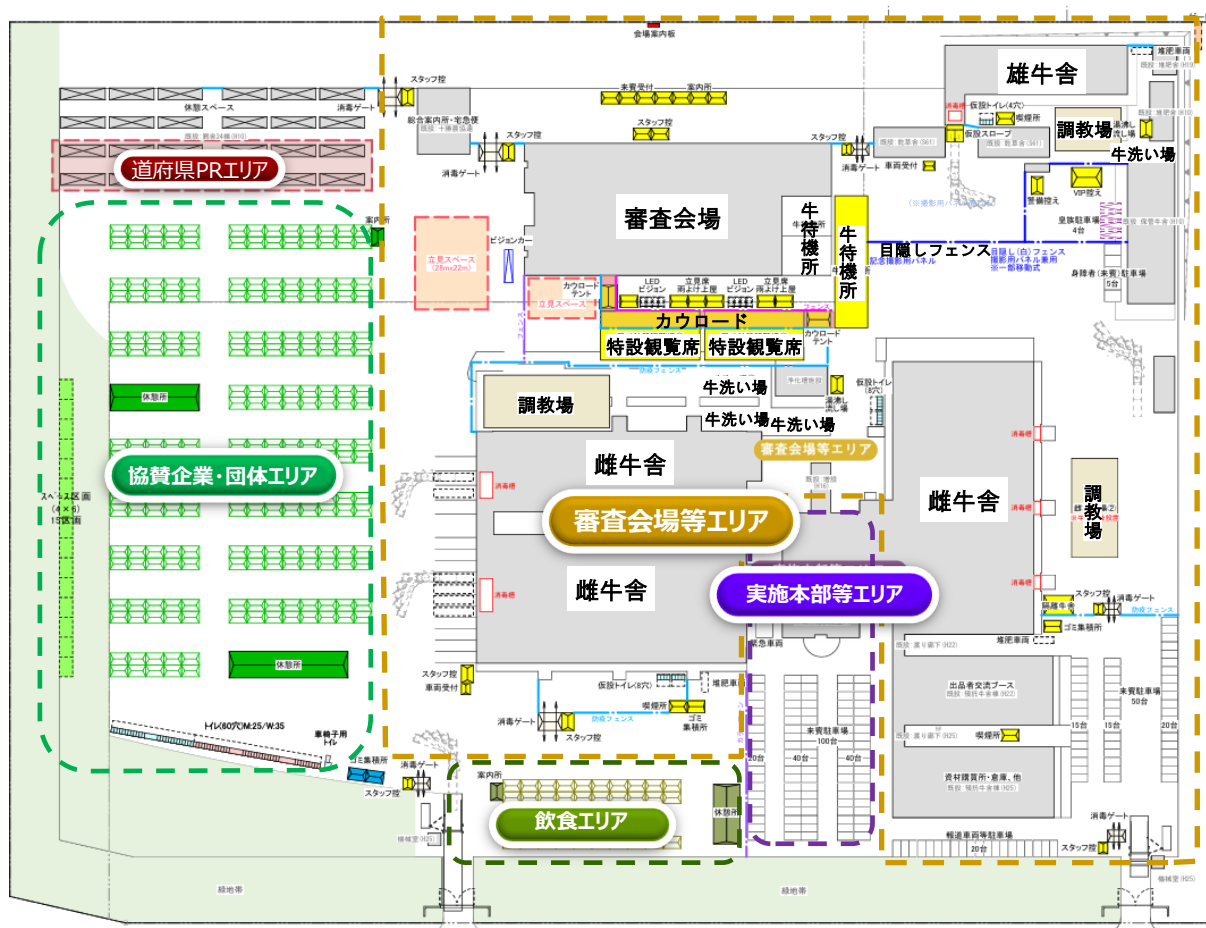
###### ○その他

- ・ 旧共進会場の建物を活用し、総合案内所とするほか、飲食・休憩スペース、宅配、救護、迷子・遺失物等のブースを設置する。

■ 共進会場エリア（鳥瞰図）



■ 共進会場エリア（配置図）

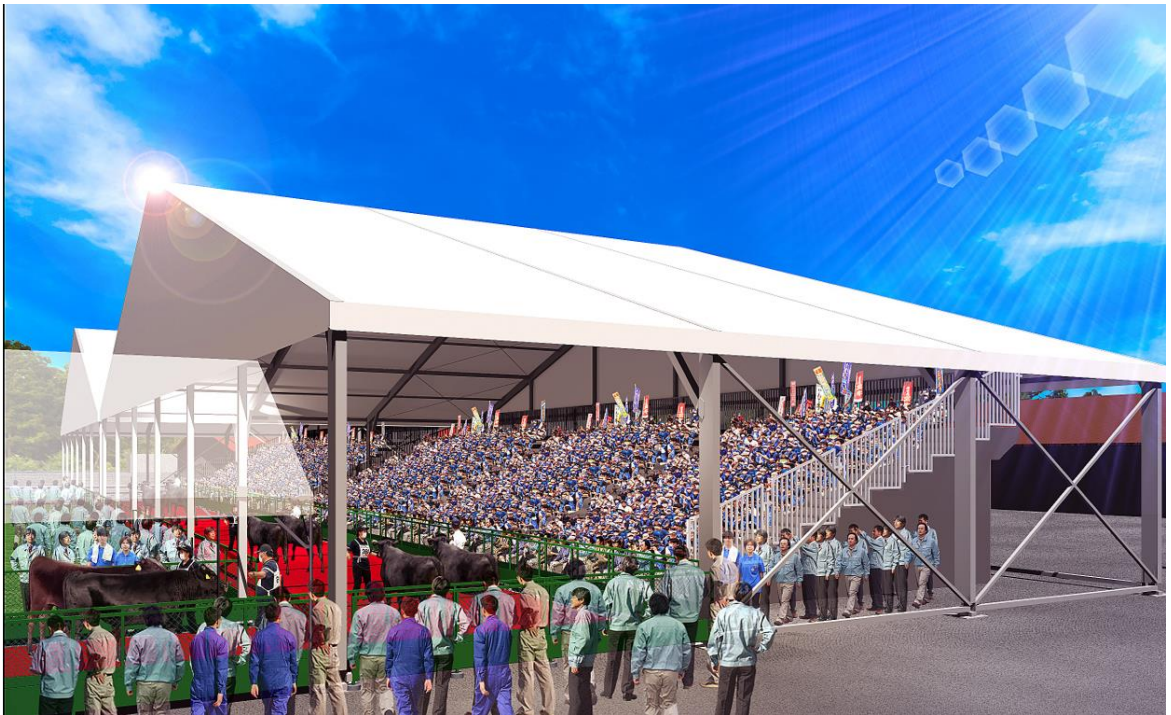


■ 審査会場（イメージパース図）



○十勝農協連アグリアリーナに仮設観覧席を設置し、立見を含め約1,500人を収容。

■ 屋外観覧会場（イメージパース図）

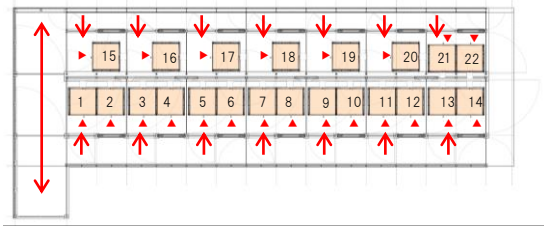


○審査会場に隣接し、屋外観覧場とカウロードを設置。出品牛がカウロードを通過することにより出品牛の展示とふれあい空間を構築。  
立見を含め約1,500人を収容。

### ■ 雄牛舎 配置図

○牛舎は既存施設を活用。

○雌牛と動線が重ならないようにフェンスを設置。



雄牛房 配置図

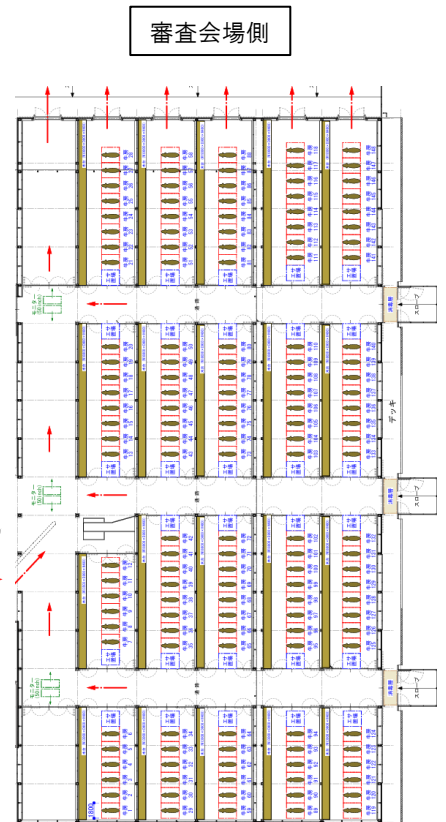
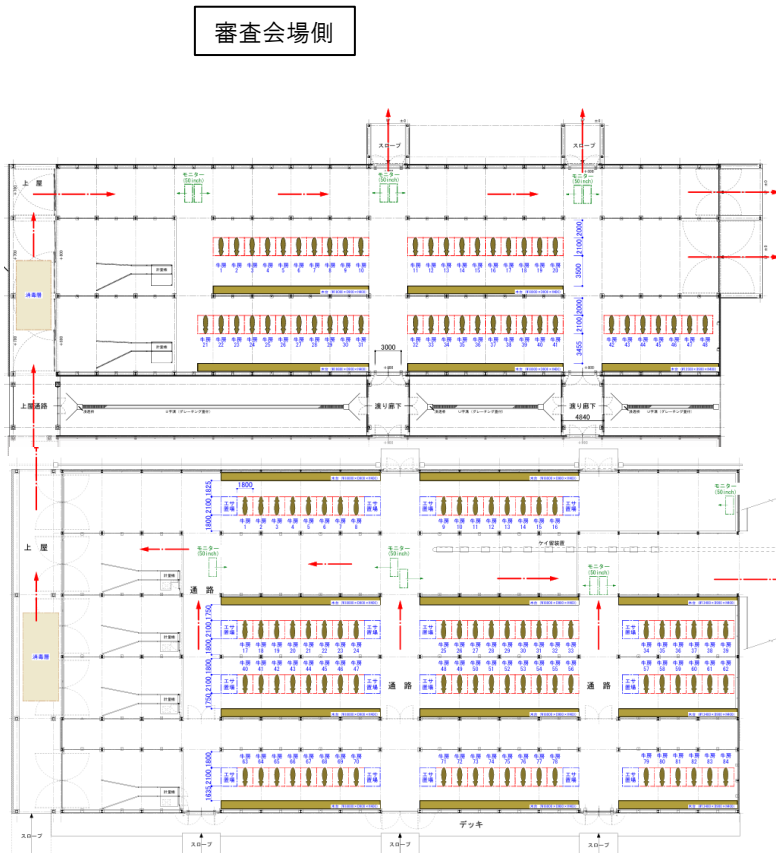


参考（第12回大会〔鹿児島〕）

### ■ 雌牛舎 配置図

市場販売牛舎

市場購買牛舎



## イ 催事会場エリア

### 【希望が丘運動公園・家畜集出荷センター】

#### 《基本的な考え方》

審査会場の雰囲気共有できるように工夫しながら、一般来場者向けの催事会場として計画する。また、和牛に関する情報提供スペースを設置するほか、回遊性を確保し、来場者の方々に満足してもらえるおもてなしを提供する。

また、高齢者や子ども、障がい者、外国人などすべての来場者が、安全かつスムーズに会場見学できる環境を整備する。

#### 《実施会場》

催事会場エリアでは、総合案内所をはじめ、北海道や協賛企業・団体のPRブースや特設ステージ、和牛振興エリア（銘柄牛、BBQコーナー）を配置する。

#### 《会場計画のポイント》

- ・ 広々とした敷地内で「おもてなしエリア」「北海道PRエリア」「和牛振興エリア」「協賛企業・団体エリア」と「特設ステージ」で構成する。
- ・ 既存駐車場をシャトルバス乗降場及び協賛企業・団体エリアとして利用する。
- ・ シャトルバス乗降場からの動線を考慮し、噴水広場手前にメインゲートを設置する。
- ・ 家畜集出荷センターの屋根付箇所をBBQコーナーに活用するほか、生涯学習センターを休憩所として利用する。
- ・ シャトルバス乗り場や全国銘柄牛コーナーなど行列が予想される個所では、過去大会等を参考に、行列が他の来場者の動線を妨げないよう配置する。

■ 催事会場エリア（鳥瞰図）



■ 催事会場エリア（配置図）



## (2) 肉牛の部会場

### ア 審査・展示会場 【株式会社北海道畜産公社十勝工場】

#### 《基本的な考え方》

出品数に応じた施設利用計画とし、枝肉の品質管理・衛生管理に配慮し、審査・展示が円滑に運営されるよう、株式会社北海道畜産公社十勝工場と連携する。

#### 《実施会場》

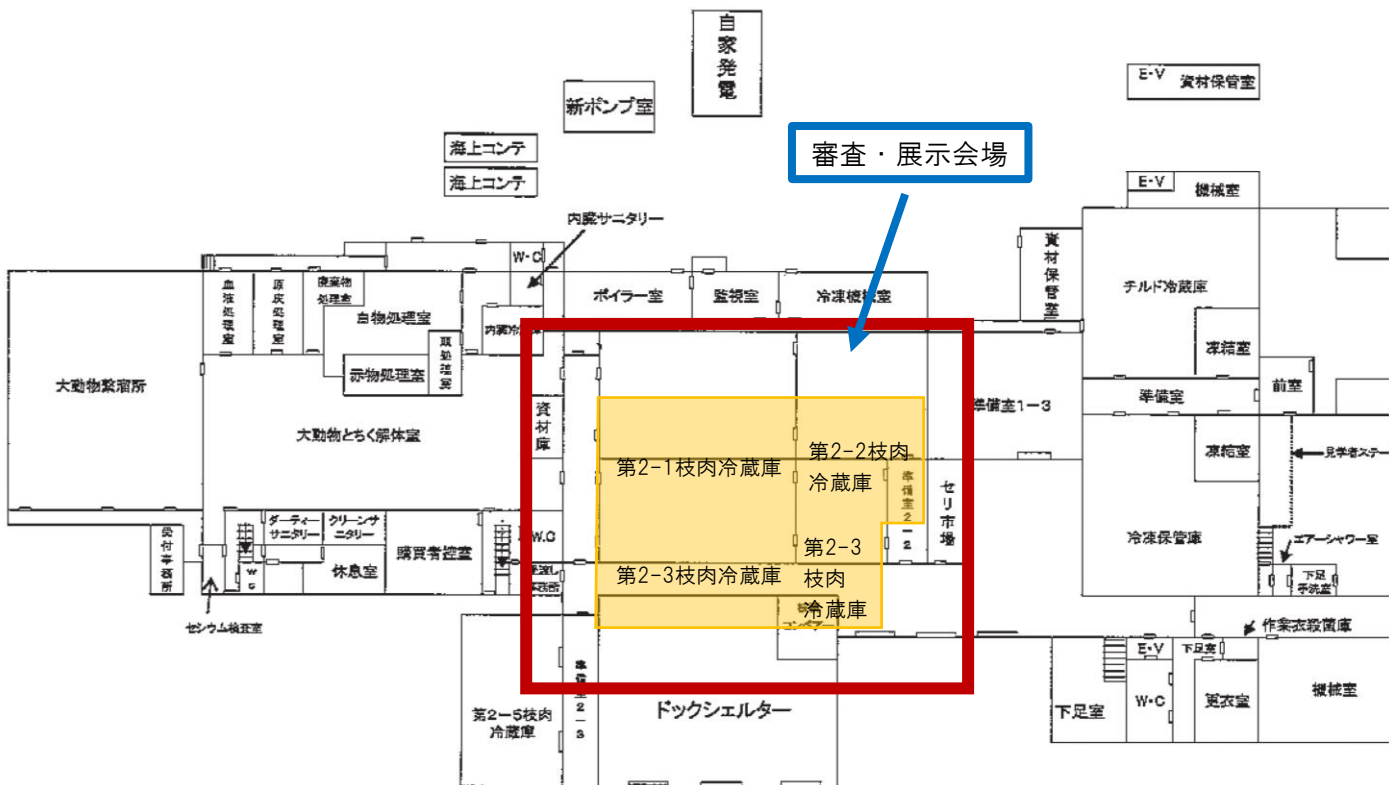
- ・ 第2工場枝肉冷蔵庫（1日最大で200頭の出品牛を処理可能）

#### 《会場計画のポイント》

- ・ 現行の繋留所を補足するために仮繋留所を設置。
- ・ 購買者・関係者用の駐車場を敷地内に確保。



■ 審査・展示会場（配置図）



十勝工場外観（第2工場側）



第2工場枝肉冷蔵庫内での枝肉審査の様子

## イ セリ会場・セリ参観会場 【帯広市総合体育館 よつ葉アリーナ十勝】

### 《基本的な考え方》

セリ会場は、円滑なセリ運営ができる会場設営とするとともに、セリ参観会場は、来場者がセリ会場の雰囲気を実感できるよう映像等を共有し、一体感のある会場とする。

### 《実施会場》

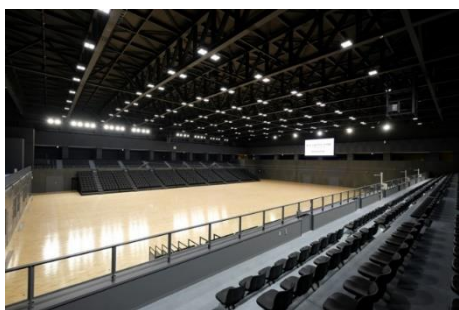
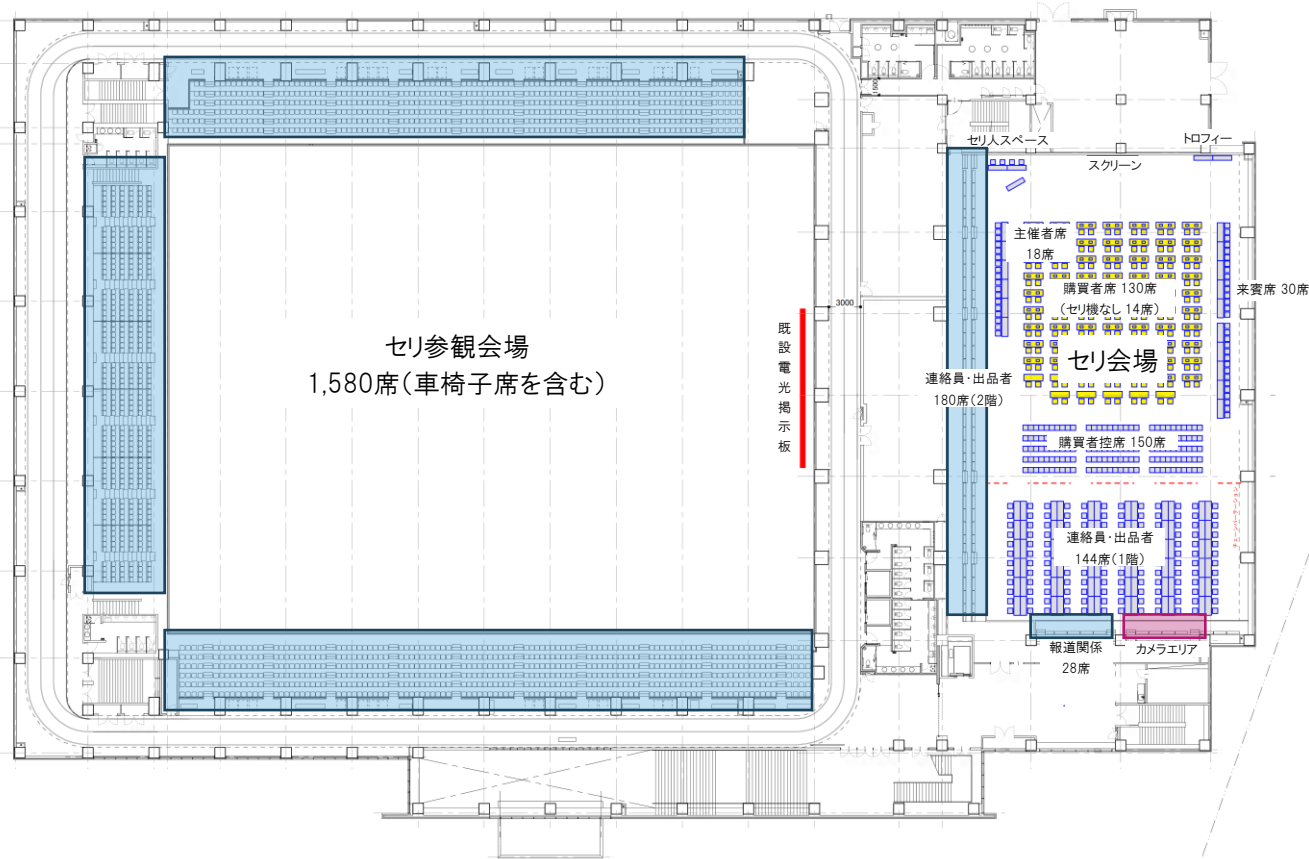
よつ葉アリーナ十勝のサブアリーナをセリ会場、メインアリーナ（2階観覧席）をセリ参観会場とする。

### 《会場計画のポイント》

- ・メイン・サブ両アリーナの使用でセリ・セリ参観を同一施設で実施可能。
- ・メインアリーナの既設大型ビジョンでセリ会場の中継を実施。
- ・来場者が、安全かつスムーズにセリ参観・会場見学ができる動線を確保する。

■ セリ会場・セリ参観会場（配置図）

○よつ葉アリーナ十勝（セリ参観会場：メインアリーナ、 セリ会場：サブアリーナ）



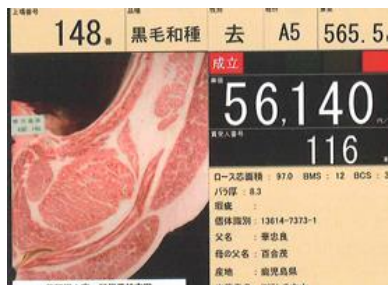
メインアリーナ



サブアリーナ



枝肉セリ会場スクリーン(宮城大会)



枝肉セリ会場スクリーン(鹿児島大会)

(3) 駐車場

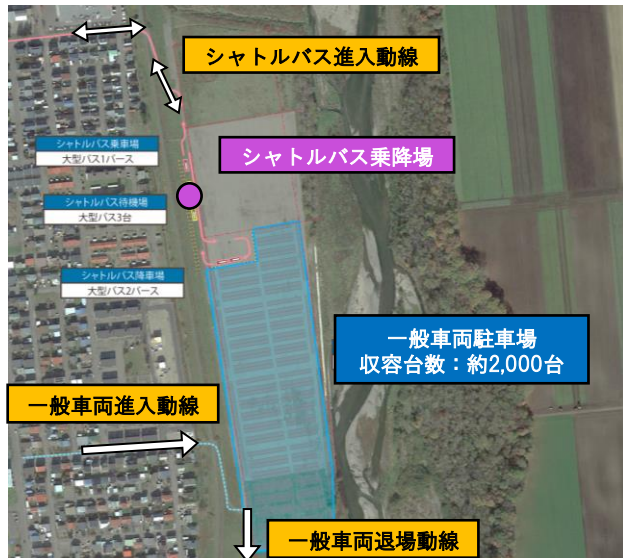
- ・ 一般来場者の駐車場は、会場周辺の交通渋滞を回避するため、河川敷の緑地公園を活用した臨時駐車場を確保し、シャトルバスで輸送する。
- ・ 関係者の駐車場（団体バス等含む）は、利便性を考慮し、会場近隣で確保する。



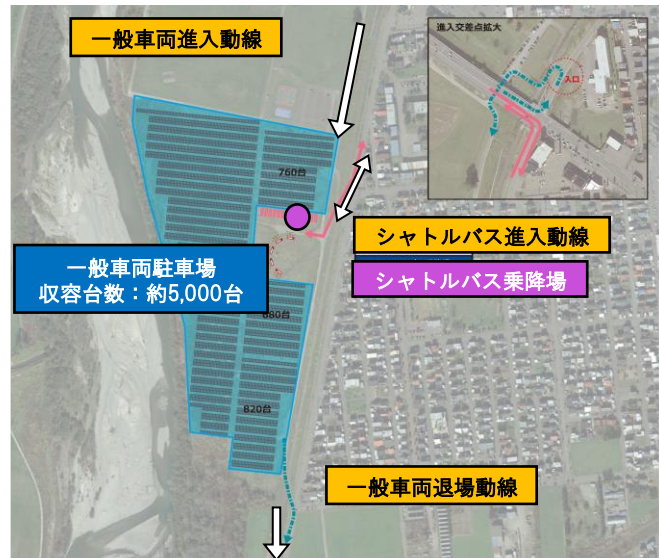
駐車場		台数	利用者	種牛の部会場（催事会場エリア）までの距離、所要時間
①	柳町河川緑地	約2,000台	一般	2km 約10分
②	札内川河川緑地	約5,000台	一般	12km 約30分
③	十勝川温泉アクアパーク	約3,000台	予備	15km 約30分

■ 駐車場平面図

①柳町河川緑地



②札内川河川緑地



### 3. 共進会開催計画

#### (1) 式典

##### ■開会式

- ・ 5年に一度の全国大会のオープニングを飾るのにふさわしい式典とする。
- ・ 皇族のご臨席を仰ぎ厳粛な式典とし、式典後に行われる審査を考慮し、遅延のない構成・進行とする。

##### ○式典概要

- ・ 日 時：令和9年8月26日（木） 9：00～11：00
- ・ 場 所：種牛の部会場 共進会審査会会場
- ・ 参加人数：約1,500人（想定）

##### ○式次第（想定）

入場行進／開式の辞／国歌斉唱／会長式辞／皇族のお言葉／北海道知事挨拶／  
農林水産大臣挨拶／出品者代表宣誓／審査員長挨拶／祝辞／来賓紹介／  
未来の担い手メッセージ／祝電披露／アトラクション／閉式の辞／退場行進

##### ■閉会式

- ・ 5年に一度の大会を締めくくる式典として、出品者をはじめ大会関係者の取組みをたたえとともに、次期大会に向けて再出発を誓う式典とする。
- ・ 開会式同様、遅延のない構成・進行とする。

##### ○式典概要

- ・ 日 時：令和9年8月30日（月） 11：00～12：00
- 場 所：種牛の部会場 共進会審査会会場
- 参加人数：約1,500人（想定）

##### ○式次第（想定）

開式の辞／国歌斉唱／会長式辞／北海道知事挨拶／審査報告／褒賞贈呈／  
祝辞／来賓紹介／祝電披露／お礼の言葉／次回開催地挨拶／閉式の辞／お礼の演奏

##### ■出品者の集い（前夜祭）

- ・ 参加道府県の出品者・関係者がお互いの健闘を祈り交流を深める式典とする。
- ・ 翌日からの大会に向けて遅延のない構成・進行とする。

##### ○式典概要

- ・ 日 時：令和9年8月25日（水） 17：30～18：30
- ・ 場 所：種牛の部会場
- ・ 参加人数：約600人（想定）

##### ○式次第（想定）

会長挨拶／歓迎の辞／記念品贈呈／出品者代表挨拶／歓迎アトラクション／閉会挨拶

## (2) 共進会

## ■種牛の部

開催場所：ホクレン十勝地区家畜市場（音更町）

審査日：令和9年8月26日（木）～30日（月）

出品頭数：約320頭

## ■肉牛の部

開催場所：審査・展示会場 株式会社北海道畜産公社十勝工場第2工場（帯広市）

セリ会場・セリ参観会場 よつ葉アリーナ十勝（帯広市）

審査日：令和9年8月28日（土）～29日（日）

セリ日：令和9年8月29日（日）

出品頭数：約200頭

## ■審査日程（予定）

月 日	種牛の部	肉牛の部	備考
(前々日) 8月24日(火)	搬入・個体確認 体型測定・栄養度予備調査	○仮繋留所搬入	
(前日) 8月25日(水)	(写真撮影)	○搬入、個体確認・体重測定等 ○仮繋留所搬入、個体確認、 体重測定	
(第1日) 8月26日(木)	開会式	○当日搬入、個体検査 ○と畜、冷蔵	
(第2日) 8月27日(金)	} 個体検査  } 比較審査・等級決定  } (肉牛の展示説明)	冷蔵 審査委員会	
(第3日) 8月28日(土)		ローズ芯切開、サンプリング 光学測定、枝肉格付け、審査、 枝肉撮影、出品者枝肉確認	
(第4日) 8月29日(日)		等級決定 連絡委員等枝肉確認 枝肉セリ	
(第5日) 8月30日(月)	上位入賞牛・特別賞パレード展示 名誉賞決定審査 閉会式 出品牛搬出		

## ＜参考＞出品区分

出品区	生後月齢 ※	生年月日	備考
第1区（若雄）	15～23ヵ月未満	令和7年9月27日 ～令和8年5月26日	単品
第2区（若雌の1）	14～17ヵ月未満	令和8年3月27日 ～令和8年6月26日	単品
第3区（若雌の2）	17～20ヵ月未満	令和7年12月27日 ～令和8年3月26日	単品
第4区（繁殖雌牛群）	3産以上		群（3頭）
第5区（高等登録群）	14ヵ月以上	令和8年6月26日以前	母・娘・孫娘群 （3頭）
第6区（総合評価群）			
種牛群	17～24ヵ月未満	令和7年8月27日 ～令和8年3月26日	群（4頭）
肉牛群	24ヵ月未満	令和7年8月27日以降	群（3頭）
第7区（脂肪の質評価群）	24ヵ月未満	令和7年8月27日以降	群（3頭）
第8区（去勢肥育牛）	24ヵ月未満	令和7年8月27日以降	単品
特別区（高校及び農業大学校）	14～20ヵ月未満	令和7年12月27日 ～令和8年6月26日	単品

※月齢は北海道大会初日（令和9年8月26日）で起算する。

## 4. 催事開催計画

「全国和牛能力共進会」本来の意義・目的を尊重しつつ、和牛に対する理解の場の提供を基本とし、世界的に評価の高い和牛の魅力をはじめ、新たな技術や価値観、若い世代の活躍など“新しい力”を国内外に発信し、未来につなげる大会とするとともに、北海道の魅力を広く発信し、多くの来場者が北海道の魅力を満喫できる催事とする。

### (1) 種牛の部会場

#### ■共進会場エリア

共進会場に集まる全国の出品関係者・畜産関係者が、審査の観戦と併せて全国の各産地や企業・団体等の情報を入手・交換できる場を提供するとともに、出品関係者や応援者が、牛の管理や観戦の合間に北海道ならではの「食」を体験できる場を提供する。

#### ○道府県PRエリア

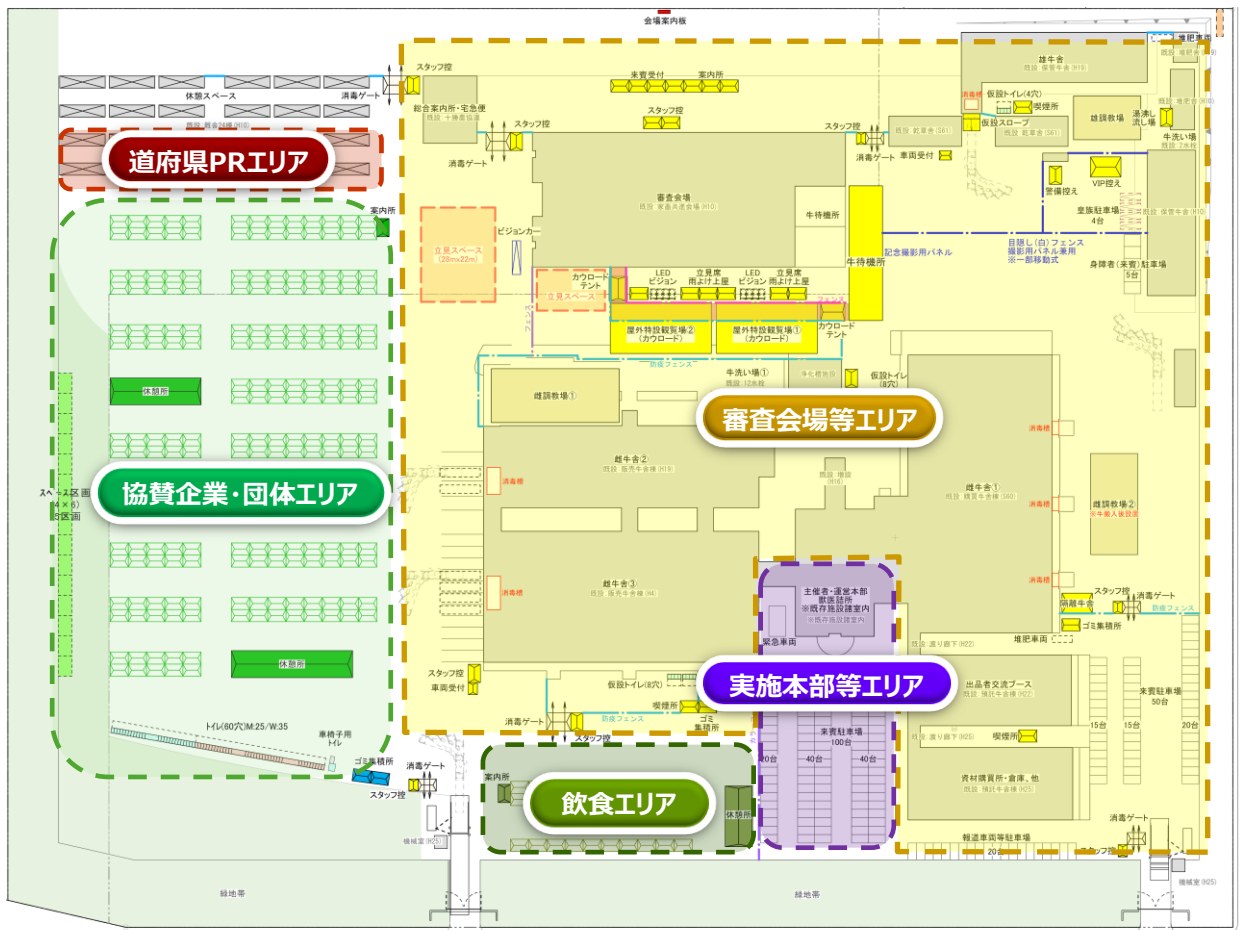
- ・観戦しやすい位置に配置し、参加者相互の交流と道府県のPRを図る機会を創出する。
- ・道府県事務所も兼ねたPRコーナーを展開する。

#### ○協賛企業・団体エリア

- ・出品関係者・畜産関係者と企業・団体が情報を相互交換できる交流の場を提供する。

#### ○飲食エリア

- ・北海道・十勝のソウルフード等を提供し、北海道の食文化を体感できる場とする。





## ■催事会場エリア

和牛審査の様子や放映など、来場者が審査会場の雰囲気や共有できるような工夫しながら、高齢者や子ども、障がい者、外国人などにも配慮し、全ての来場者に満足してもらえる、おもてなしを提供する。

北海道の食・観光・文化のPRとともに、協賛企業・団体の出展や企画展示等により、和牛生産に対する理解醸成、和牛ブランドの認知度向上を促すような催事とする。

来場者に対して、歓迎の気持ちでお出迎えし、年齢を問わず楽しめ、くつろげる場を提供する。

### ○おもてなしエリア

- ・来場者がスムーズに会場内を楽しみ、くつろげるよう情報提供、会場内サポートを行う場を提供する。

### ○北海道PRエリア（ステージ）

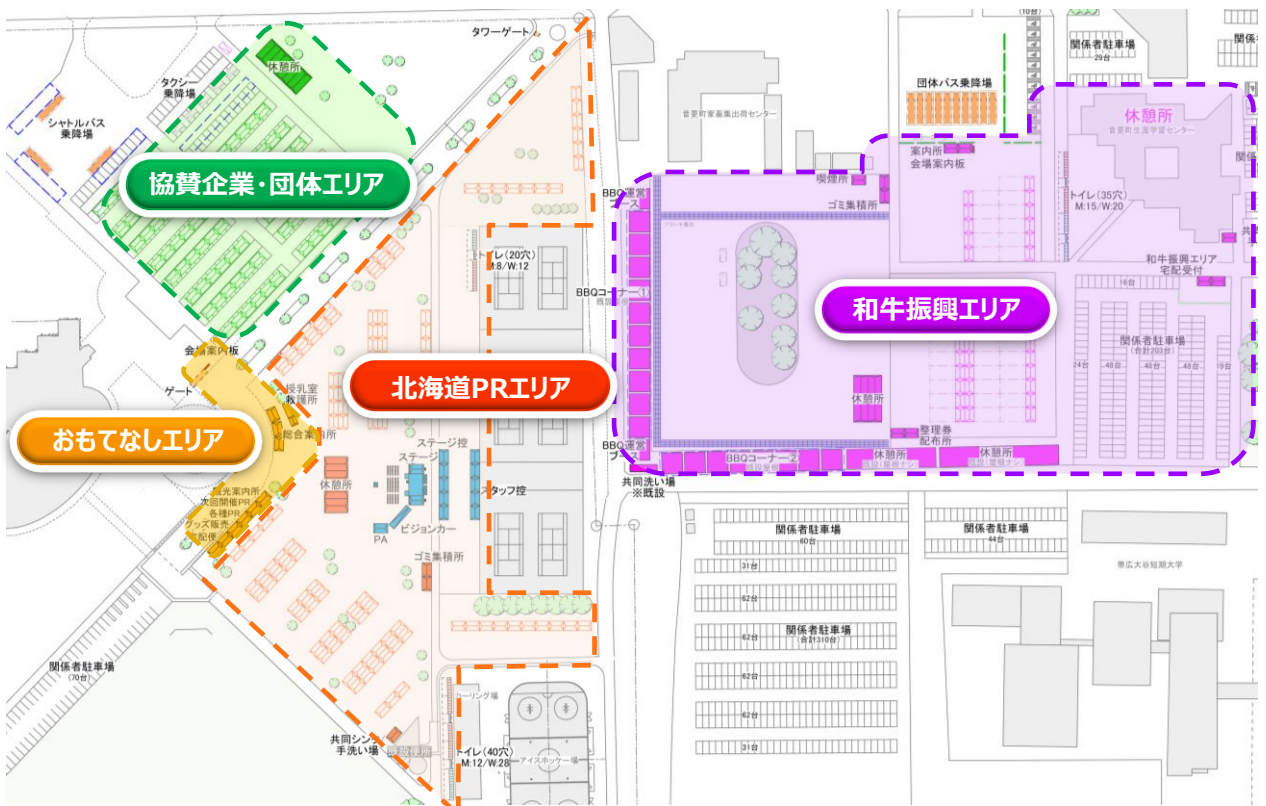
- ・北海道・十勝の魅力ある食・文化の体験および道内各地の観光情報等の発信を行う。

### ○和牛振興エリア

- ・全国銘柄牛の試食等を通じて、和牛の魅力や各地のブランド牛のPRを行う。
- ・関係団体の協力による企画展示等を通じ、和牛生産や和牛振興の取組の周知を図る。

### ○協賛企業・団体エリア（出店・展示）

- ・協賛企業・団体の製品展示、活動の紹介等を通じ、和牛産業および関連産業への関心を醸成し、一般来場者への認知度向上を図る。



## (2) 肉牛の部会場

セリ・参観会場の館内に、来場者向けの展示スペースを確保し、セリ及びその参観に集まる全国の食肉関係者に対し、和牛肉の新たな価値観に基づく品質評価手法などの情報を提供するとともに、開催地である帯広・十勝の魅力を発信する。

### ○和牛の評価技術を知るコーナー

- ・食味やきめの細かさなど、試験・研究機関等が取組む和牛の新たな価値観に基づく品質評価技術の紹介などの企画展示を行う。

### ○開催地PRコーナー

- ・全国から集まる食肉関係者等に、開催地である十勝・帯広の食・観光等の情報を提供する。



セリ・観覧会場 よつ葉アリーナ十勝の館内ロビーの様子

### (3) 出展・協賛

#### ■出展・協賛の考え方

- ・ 本大会は和牛・農畜産業の祭典であるとともに、食品・環境・生活なども含めた幅広い関連産業のPRの場とする。
- ・ 多くの企業等の参加、協賛が得られるよう、広く道内外の企業・団体等へアプローチする。
- ・ 特に道内企業に対しては、「北海道」を全国へ発信する絶好の機会であることから、関係団体等との連携を図りながら、積極的に参加・協賛等の募集に取り組む。

#### ■出展・協賛の形態と展開方針

##### ○出展参加

- ・ 専門の窓口を設置し、出展スペースや出展料を調整する。

##### ○和牛振興企画展示

- ・ 関係団体の意向を尊重し、展示内容等を調整しながら進める。

##### ○営業出店参加（飲食・物販等）

- ・ 専門の窓口を設置し、出店スペースを用意し、企画内容に即した運営を行う。資材等は持ち込みによる営業を原則とする。

##### ○運営にかかる業者協力

- ・ 飲食出店ブースへの食材等輸送業者の一元化に努める。
- ・ エコイベントや資源ゴミのリサイクル等について、業者の協力を求める。

##### ○協賛

- ・ 専門の窓口を設置し、参加企業への特典を調整の上、資金・催事・広告・物品協賛を募る。
- ・ 募集には、クラウドファンディングの活用も検討する。

##### ○その他の参加

- ・ ご当地キャラクター等の参加を募る。
- ・ ボランティアの参加を募る。

#### ■オリジナルグッズの販売

本大会のテーマ、キャラクター等を活用した来場者に喜ばれるオリジナルグッズの製造・販売を行う。



第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の例

## 5. 広報計画

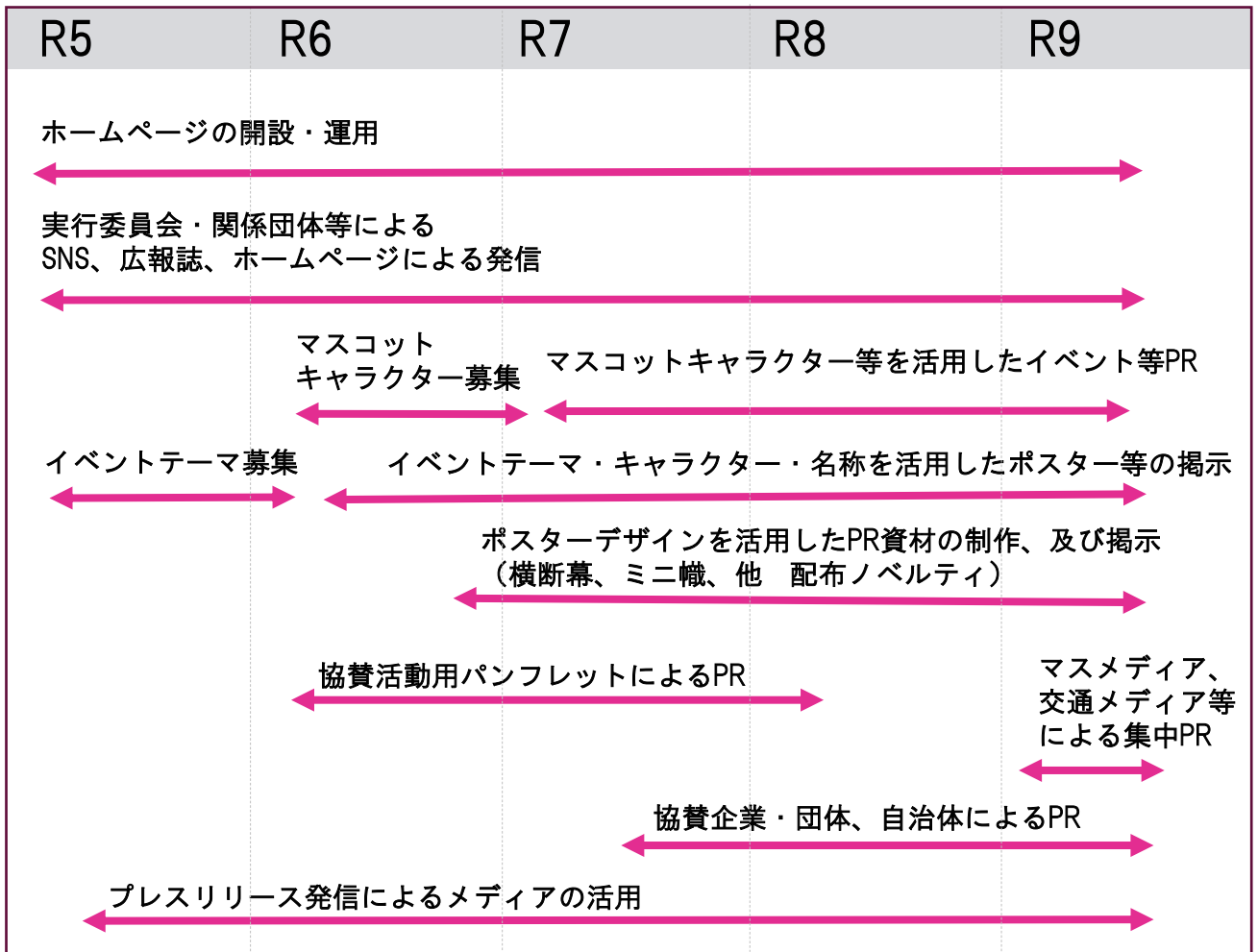
### ■ 広報展開の考え方

北海道大会の周知を図り、和牛生産関係者の参加意欲を喚起するとともに、流通関係者や一般消費者の関心を高め、来場を促進する。

### ■ 広報宣伝の対象

- ・ 北海道内外の畜産農家、畜産産業関係者に迅速かつ正確な情報を発信する。
- ・ 一般消費者に対しては、和牛や共進会に対する理解や関心を高めることで、会場への来場意欲を促す。
- ・ 畜産関係者や開催地域住民へ大会の周知を図り、開催機運の醸成を図る。
- ・ 国内及び海外にPRする絶好の機会ととらえ、北海道和牛ブランドをはじめ、食・観光・文化など北海道全体の魅力をアピールする。

### ■ 広報宣伝の具体的な取り組み



## 6. 交通・宿泊計画

### (1) 交通計画

過去大会や地元イベントの実績を踏まえた曜日・時間帯、交通手段別来場者数の予測に基づき、関係先と協議の上、必要な駐車場、シャトルバスの確保を図るとともに、駐車場情報や混雑状況の周知、複数の運行ルートの導入、駐車場予約システムの導入等により渋滞回避や行列時間の短縮に努める。

#### ■駐車場

- ・ 種牛の部審査会場・催事会場に皇族、来賓、障がい者用駐車場を確保するとともに、徒歩圏内の会場隣接地に出品者・出展者など大会関係者用駐車場を確保する。
- ・ 一般用駐車場は、催事会場まで車で30分圏内に必要台数を確保する。
- ・ 肉牛の部審査会場・セリ会場に出品者・セリ参加者など関係者用駐車場を確保する。

#### ■公共交通機関

- ・ 道内主要都市や新千歳空港からはJRで、とちち帯広空港からは連絡バスで帯広駅へ接続するため、帯広駅からシャトルバスを運行し公共交通機関の利用を促進する。

#### ■シャトルバス

- ・ 帯広駅・一般用駐車場と種牛の部催事会場の間にシャトルバスを運行するほか、催事会場と審査会場及び道の駅おとふけ（都市間バス停車）の間に循環バスを運行する。

#### ■情報提供

- ・ HPで駐車場案内図や混雑状況、交通情報のリンク先を掲載し渋滞回避に努める。
- ・ シャトルバス乗場で到着時間や最後尾の予想待ち時間をプラカード等で提示する。

#### ■会場までのアクセス、シャトルバスルート図



## (2) 宿泊計画

出品者や大会関係者の宿泊先については、トラベルセンターを設置するとともに、宿泊部屋数の限られる十勝宿泊以外のツアーを提案するなど宿泊先の確保に努める。

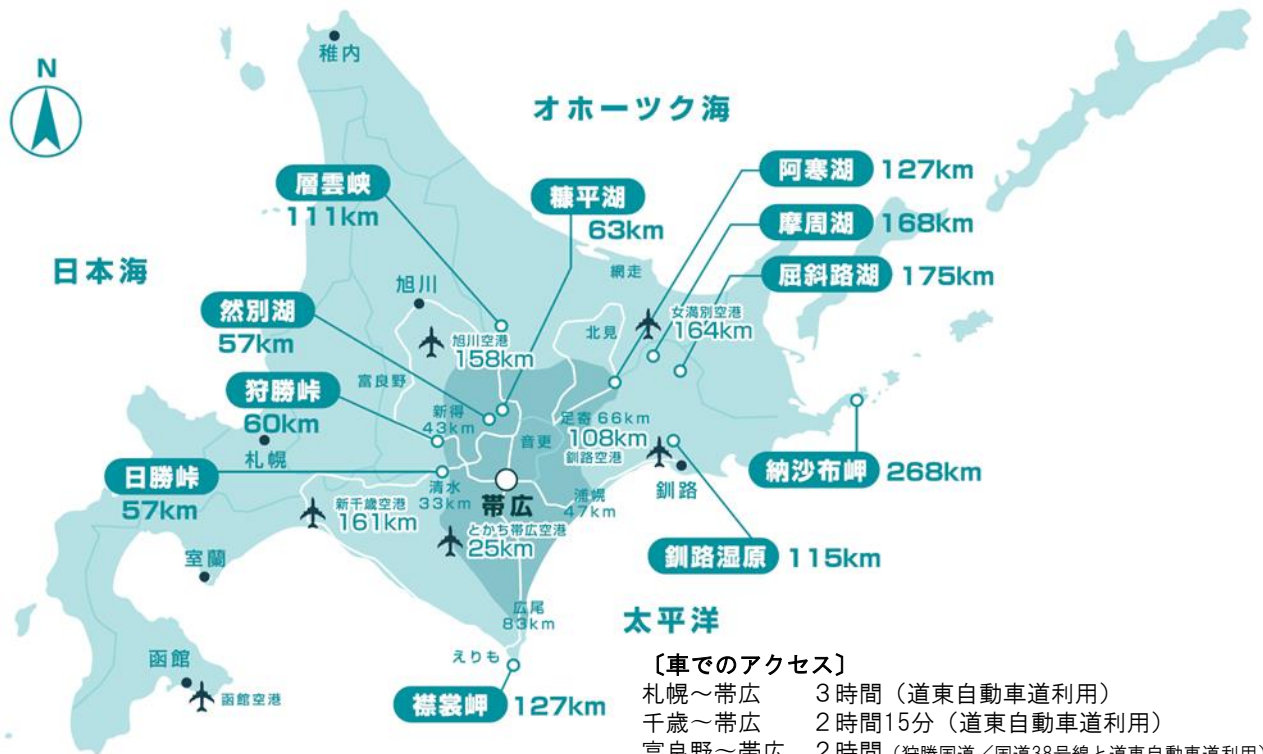
また、確実かつ円滑に宿泊申込をするため、オンラインによる宿泊申込の運用を検討する。

### ■宿泊先の確保

- ・各県の出品団（出品者・関係者）は、会場から30分圏内の宿泊施設を確保する。
- ・大会関係者、来賓・招待者等は、帯広市内のホテルを中心に確保する。
- ・地元応援団等は、帯広市内を中心に宿泊の確保に努めるが、札幌・千歳空港周辺や釧路・オホーツク及び旭川・富良野・トマム地区も含めた応援ツアーを提案し、宿泊地の確保・分散を図る。

### ■応援ツアーの紹介例

1. 新千歳空港空港IN・OUT 【3泊4日・4泊5日】 [札幌・富良野・小樽コース](#)  
千歳空港－札幌－定山溪温泉泊－[全共会場](#)－富良野泊－富良野・旭川－札幌泊（－小樽・余市－札幌泊）－千歳空港
2. 新千歳空港空港IN⇔女満別空港OUT 【3泊4日・4泊5日】 [札幌・阿寒・知床コース](#)  
千歳空港－札幌－札幌泊－[全共会場](#)－阿寒泊－阿寒・摩周－川湯温泉泊（－網走・知床－ウトロ泊）－女満別空港
3. 新千歳空港IN⇔釧路空港OUT 【2泊3日・3泊4日】 [十勝・釧路・阿寒コース](#)  
千歳空港－[全共会場](#)－幕別泊（－[全共会場](#)－幕別泊）－釧路湿原・釧路・屈斜路湖・摩周－阿寒泊－阿寒湖－釧路空港



■記載のkm数は帯広市中心部からの概算距離

#### 【車でのアクセス】

- 札幌～帯広 3時間（道東自動車道利用）
- 千歳～帯広 2時間15分（道東自動車道利用）
- 富良野～帯広 2時間（狩勝国道／国道38号線と道東自動車道利用）
- 旭川～帯広 3時間10分
- 釧路～帯広 2時間5分（道東自動車道利用）
- えりも岬～帯広 2時間15分

## 7. 会場運営計画

安全で円滑な運営を基本とし、種牛の部会場の共進会場エリア、催事会場エリアや肉牛の部会場での屋外広場及び屋内施設の機能を十分に活かし、会場全体の一体感が感じられる運営とする

### ■防疫・衛生対策

今後策定する「第13回全国和牛能力共進会家畜衛生対策要領」や「出品牛輸送要綱」に基づき、共進会会場全体の防疫対策及び出品牛の検査・予防接種等の衛生対策について、関係機関と連携し、人・出品牛、牛舎、車両の消毒を行うなど、防疫体制の徹底を図る。

### ■警備対策

警備員や実施本部員などを配置して、会場内の警備や車両の整理、参加者・来場者の誘導を行うこととし、夜間も含めた監視・巡回警備の警備計画を立案する。

また、開催日別の来場者予測や会場内の施設配置を踏まえ、会場内での事件・事故を防止し、円滑な大会運営を図るため、警察等関係機関と協力した警備計画を立案する。

### ■消防・防災対策

消防その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして参加者の安全を確保する。

防災危機管理については、責任者を明確にし迅速な初期対応ができるよう、ガイドラインを設定する。

### ■環境衛生対策

会場内及び会場周辺におけるゴミの分別処理及び排水対策等に細心の注意を払い、周辺環境に十分配慮する。

また、会場周辺の事業者や住民に対し大会への理解と大会運営への協力を依頼する。

### ■食品衛生対策

飲食物を扱う出店・出展者は、所轄の保健所と協議を行い営業許可を受け、許可の条件及び基準に沿った衛生管理を行うとともに、保健所の指導事項の厳守を徹底する。

## ■雨天・荒天対策

雨天時・荒天時対応のガイドラインを設定し、雨天時や強風時にも円滑に運営できるように計画するほか、台風・地震等の突発事案が生じた際の非常事態に迅速かつ適切に対応するため、必要に応じ大会開催の可否について判断する対策会議を設置する。

## ■危機管理対策

危機的な状況に対して、関係者が迅速かつ的確な対応が行えるよう、避難マニュアルを作成の上、動員スタッフに対し、十分な周知を図る。

## ■医療・救護対策

会場内及び会場周辺の傷病発生に対し、迅速に対応できる体制を構築する。

## ■来場者への接遇及びサービス対策

接遇内容を事前に検討し、来場者のニーズに的確に対応するとともに、総合案内所や掲示板の設置、救護・迷子・遺失物対応など、多様なサービスを提供する。

## ■大会運営の協力体制

大会の円滑な運営を図るため、道内関係機関・団体等の協力のもと、運営本部体制を構築し、大会期間中の実務にあたる。



## 8. 全体事業費（概算）

区分		金額（千円）
① 共進会開催経費	総務事務費	60,000
	広報宣伝費	30,000
	交通対策費	80,000
	会場対策費	238,000
	運営費	62,000
	出品対策費	10,000
	計	480,000
② 催事開催経費	会場対策費	179,000
	運営費	91,000
	計	270,000
開催経費総計（①+②）		750,000

9. 全体スケジュール

第13回全国和牛能力共進会北海道大会 全体スケジュール

実行委員会		総務	広報	会場	交通	宿泊	催事
令和5年度	基本計画		全共だより発刊・マスコット募集	配置案作成・会場（審査会場・牛舎・付帯設備・催事会場等）設計・設営等委託	来場者数予測・交通体制確保・駐車場確保・シャトルバス等運行計画・輸送等業務委託		
令和6年度	実施計画	企業団体への協賛募集・動員計画・運営マニュアル作成等	活用・ポスター等PR資材作成・各種広報宣伝活動等			トラブルセンター設置・宿泊先調整・会場間輸送確保等	催事計画作成・既存イベント調整・企業等展示出展確保等
令和7年度							
令和8年度							
令和9年度	大会実施本部						
第13回全国和牛能力共進会北海道大会(令和9年8月26日から30日)							